学生挑戦応援プロジェクト報告書

「柔道の形の理解を深め、
世界形選手権大会（U-２３）への出場と世界一を目指す」

武道課程　４年　城戸　鼓夢

目次

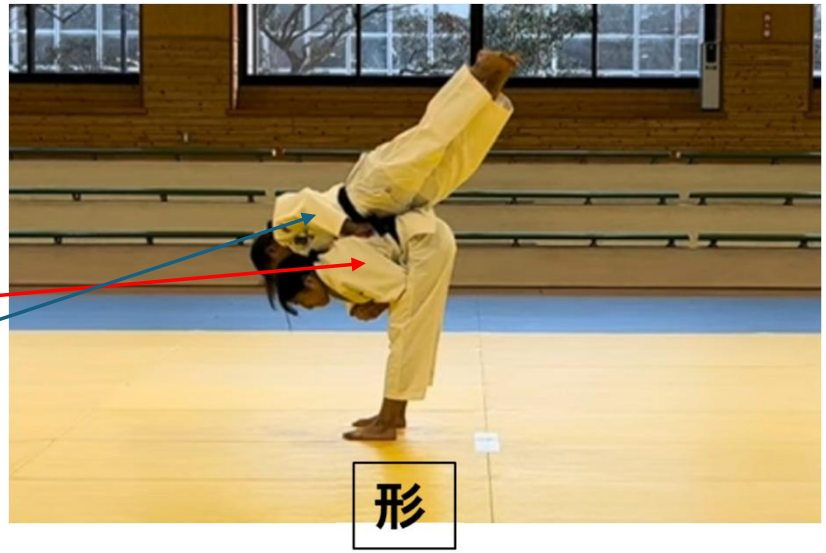
0　柔道の形について
1　プロジェクト概要
2　プロジェクト背景
3　プロジェクトで期待される成果や波及効果
4　具体的な内容
5　全体的なスケジュール
6　このプロジェクトを通して
7　活動報告
8　プロジェクトで期待される成果や波及効果（結果）
9　まとめ

柔道の形について

〇<u>柔道の形とは</u>…２人１組で行う

・技を仕掛ける方＝「取(とり)」

　技を受ける方＝「受(うけ)」



形と乱取（実践）＝作文と文法

<u>どちらかが欠けても不十分</u>

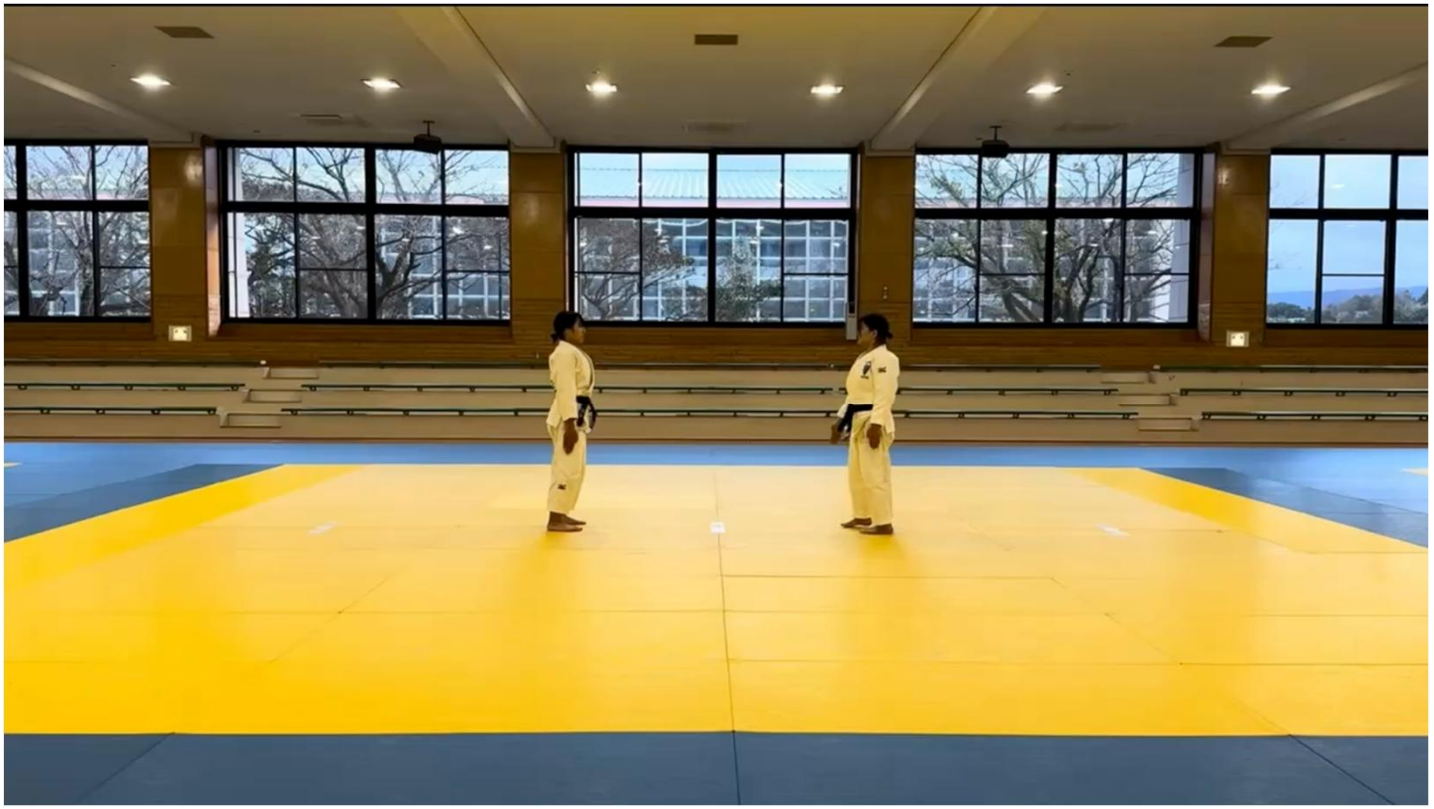
柔道の形について

１．投の形(なげのかた)
２．固の形(かためのかた)
３．極の形(きめのかた)
４．柔の形(じゅうのかた)
５．講道館護身術(こうどうかんごしんじゅつ)
６．五の形(いつつのかた)
７．古式の形(こしきのかた)

○柔の形…攻撃防御の方法を、緩やかな動作で、力強く、表現的、体育的に組み立てられたもの（女性の形ともいわれる）

２０２３年　全日本学生柔道形競技大会の映像
（全日本学生柔道形競技大会　４位）

取：城戸　鼓夢　　受：村井　七彩



○形競技の審査方法

・減点方式

・講道館が発行している形の教本およびDVDを基準に審査

・国内での審査は審査員各自の判断で採点される

・講道館での講習の内容が役に立つ

・審査基準を知っている現役の選手からの指導が役に立つ

○今年の２月に講道館での講習に参加

→形の技術レベルがアップ

１．プロジェクト概要

①講道館での「形」講習会を受講することにより、各大会での審査員を務める指導員から直接「形」審査のポイントを教授してもらう

②世界形選手権４連覇中の石田桃子・真理子選手（愛知県名古屋市)から直接指導を受け、世界形選手権（Uー２３）への出場と、世界一を目指す

２．プロジェクト背景

・「形」の大会での上位入賞を狙う

各大会で審査員も務める
講道館の「形」指導員の指導
を受けられるかどうかが鍵

→ 地方の選手が不利になる
ことが否めない…

→直接指導員の元へ向かい、指導していただくことで、大会での
上位入賞を狙う。

３．プロジェクトで期待される効果や波及効果

・世界形選手権大会への出場

本学の柔道部の活動実績に
新たな価値観
を加えることが出来る

・「形」は生涯を通じた修行の一環
として受け入れられやすい

本学武道課程における
「生涯柔道の実践」を世間に
強くアピールするきっかけと
なる

４．具体的な内容

①講道館「形」講習会へ参加し、「形」の技術向上のみならず、指導員から直接「形」審査のポイントを教授してもらう。

②愛知県名古屋市において世界形選手権4連覇中の石田桃子・真理子選手から直接指導を受け、「形」の技術向上と完成を目指す

５．全体のスケジュール

日付	場所	滞在場所	概要
7月10日	鹿児島→名古屋	ホテル(ホテルマイステイズ名古屋栄)	飛行機（スカイマーク）21：20～22：40
7月11日	名古屋		石田さんとの形講習会　15：30～
7月12日	名古屋		
7月13日	名古屋→東京	夜行バス	夜行バス：JR名古屋から池袋駅東口（24：45～7：15）
7月14日	東京	講道館	講道館　15：00チェックイン
7月15日			
7月16日			
7月17日			夏期講習会　（9：30～12：00・14：00～16：00）
7月18日			
7月19日			
7月20日			
7月21日			世界形選手権選考会（13：00～）
7月22日	東京→鹿児島		飛行機　ソラシドエア　（18:10～20：00）

６．このプロジェクトを通して

・形競技の技術向上に繋げ大会での実績を上げ、鹿屋体育大学柔道部の活動実績に新たな価値観を与えたい

・形競技について深く学ぶことで柔道の技の理合いについて知り、武道の歴史を心身ともに感じ、今後の競技人生に活かしていきたい

7．活動報告

〇7月１０日～7月１２日

- 世界形選手権4連覇中の石田桃子・真理子選手からの指導

実践的な形競技の技術と知識を得ることで、競技レベルが上がった。

〇７月１４日～７月２０日

- 講道館で講道館の師範方に柔の形を教授してもらう。
- １７日に行われた講道館の夏期講習会に参加する。

７月２１日
世界形選手権大会選考会

世界形選手権大会選考会の結果・・・

世界形選手権大会U-２３の出場権獲得！！

〇１１月９日
世界形選手権大会　U-２３
（アメリカ・ラスベガス）

結果
３５９点
予選リーグ４位

採点結果

技	点数(審査員５人の合計点)				
		2022	2023	2024.7月	2024.11月
第一教	突出	18.5	20	21.5	
	肩押	17	18	20.5	
	両手取	17.5	20	20.5	
	肩廻	18	20	21.5	
	腮押	18	20	21	
第二教	切下	15.5	17	20.5	
	両肩押	15	18	20.5	
	斜打	17	19	20.5	
	片手取	17	19.5	20.5	
	片手挙	17	18	18.5	
第三教	帯取	17.5	19.5	18.5	
	胸				
	突				
	打				
	両眼				
礼法		17.5	20.5	22	
全体の流れ		17.5	19.5	21.5	
合計点		288.5	322.5	350	359
100点満点		56.6	63.2	68.6	
最高得点		18.5	20.5	22	
最低点		15	17	18.5	

今回の講習を通して、形の技術力が上がったことがわかる！！

８．プロジェクトで期待される成果や波及効果

・世界形選手権大会への出場 → 本学の柔道部の活動実績に新たな価値観を加えることが出来る

<u>2024年度　全日本学生柔道形競技大会</u>

鹿屋体育大学柔道部学生→２組入賞

世界形選手権大会選考会にエントリー予定

８．プロジェクトで期待される成果や波及効果

・「形」は生涯を通じた修行の一環として受け入れられやすい

→ 本学武道課程における「生涯柔道の実践」を世間に強くアピールするきっかけとなる

・形競技は老若男女様々なカテゴリーの選手たちが対等に戦える競技であることがわかった。

９．まとめ

①講道館での「形」講習会を受講することにより、各大会での審査員を務める指導員から直接「形」審査のポイントを教授してもらう

②世界形選手権４連覇中の石田桃子・真理子選手（愛知県名古屋市)から直接指導を受ける

→

①世界形選手権（Uー２３）への出場
②世界一を目指す

①世界形選手権大会（U-２３）への出場を達成
→・各大会での審査員を務める講道館の指導員からの直接の指導を受けたこと
　・実際に形競技をされている石田姉妹から、実践的な内容を指導していただいたこと

②世界一を目指す
→予選で負けてしまった要因
・実力不足
・形競技としてのルールを含めた知識不足

ご清聴ありがとうございました